

# 全国大会開催記録

回	年月日・会場	発表者	題目
第1回	昭和39(1964)年 6月13・14日 広島大学	[シンポジウム]	
		今井文男(金城学院大)・	テーマ:私は表現学をこう考える
		樺島忠夫(京都府立大)・	
		木原 茂(広島女子短大)・	
		阪倉篤義(京都大)・外山	
		滋比古(お茶の水女子大)	
		[研究発表]	
		田中瑩一(松江南高)	人間の方法与自然の方法—説話集の表現をめぐって—
		田井庄之助(広島大)	世阿弥の表現
		河村清一郎(金城学院大)	小説における「場面」の構成
第2回	昭和40(1965)年 6月5・6日 愛知県研修会館	竹岡正夫(香川大)	富士谷成章の「旨・趣」について
		大高順雄(岡山大)	初期フランス語における形容詞の『比較』表現
		真下三郎(広島大)	往来物の文体
		[講演]	
		杉浦栄三(中日新聞社)	マスコミュニケーションとパーソナルコミュニケーションの接点
		松永信一(広島大学)	文章表現の研究における基礎作業—表現学の方法・試論—
		[シンポジウム]	
		久米常民(愛知県立大)・	テーマ:文章表現の研究における基礎作業「表現とは何か」
		塚原鉄雄(大阪市大)・関	
		良一(二松学舎大)・司会: 今井文男	
[研究発表]			
中野美彦(金城学院大)	文章の病理		
中村 敬(南山大)	新修辞学試論—言語教育的立場から—		
土部 弘(大阪教育大)	文章の基本様式		
押見虎三二(新潟大)	連歌の表現性		
寿岳章子(京都府立大)	大衆の修辭の型		
林 巨樹(青山学院大)	表現と文体—近代修辭学書の場合—		

第3回	昭和41(1966)年	[講演]	
	5月21・22日	真下三郎(広島大)	手管考
島根大学		山口 正(茨城大)	表現における自己形成の問題
		[シンポジウム]	
		国広哲弥(島根大)・阿部 鵬二(防衛大)・吉田再造 (防衛大)・岩脇三良(防衛 大)・東 節夫(防衛大)・福 島行一(防衛大)・阿南惟 敬(防衛大)・新開高明(防 衛大)	テーマ:文学における女性美の表現につ いて—比較表現学への一つの試み—
		[研究発表]	
		田中瑩一(松江南高)	文章の解剖とその解釈
		永尾章曹(広島大)	文章の分類について
		桑田 明(高松高)	詠嘆表現の一類について
		伊牟田経久(広島女子大)	『かげろふ日記』の方法
		山本 昂(金城学院大)	イメージとイメージラリー
		両角克夫(信州大)	比較表現学の課題
		寺本喜徳(松江高専)	写生文の表現
		稲賀敬二(広島大)	中世源氏物語(「の」削除)梗概書の表現
		赤羽 学(岡山大)	芭蕉の表現—「荒海や」の句の「よこた ふ」について—
		松永信一(広島大)	助詞の分類—表現学の立場から—
第4回	昭和42(1967)年	[講演]	
	5月20・21日	吉田精一	詩語と文学表現—日本古典文学におけ る—
東京教育大学		波多野完治	表現学と修辞学—現代心理学の立場か ら—
		[シンポジウム]	
		なし	
		[研究発表]	
		池谷敏忠	西脇詩の“愛愁”と調和の美学
		鈴木保昭	日英語表現力の相違—語順を中心とし て—

		大高順雄	初期フランス語における色彩語
		小野 基	初期の近代文章における累加的表現について
		長尾章曹	「表現と言語との関係」についての一考察
		橘 豊	第四人称について
		河村清一郎	『雪国』の表現
		竹岡正夫	『古今和歌集』仮名序の「六つのさま」の解釈
第 5 回	昭和 43(1968)年	[講演]	
	5 月 11・12 日	阿達義雄(新潟大)	川柳の背後
	新潟大学	熊沢 龍	文の表現について
		[シンポジウム]	
		堀井令以知(愛知大)・白	テーマ:語の意味・文の意味・文章の意味
		川正男・藤掛庄市(岐阜	—意味論の建設—
		大)・司会:今井文男	
		[研究発表]	
		杉浦茂光	讃酒歌の表現構造
		山根 巴	茂吉短歌の一表現—「ごとし」の用法について—
		小野迪雄	H・Jamesと泡鳴—視点について—
		河村清一郎	康成『雪国』の表現・補遺—『北越雪譜』との関連について—
		長田久男	文章における「書き手の間」と「読み手の間」
		栗原 裕	非分析的認識—シェイクスピアにおける「形容詞＋名詞」結合
		杉浦 実	クラークスのシズム論について
		樺島忠夫	情報の科学としての表現の学
		大竹大三	芭蕉の表現—その抒情の深さについて—
第 6 回	昭和 44(1969)年	[講演]	
	5 月 10・11 日	近石泰秋(香川大)	浄瑠璃の詞章
	香川大学	阪倉篤義(京都大)	日本語の表情

		[共同研究]	
		井門義男・小野基・向井 滋之	テーマ:文脈をどう考えたらよいか
		[研究発表]	
		早川勝広	幼児における対話の発達について
		森 米二	Rupert Brooke の War Sonnets をめぐって
		小田迪夫	論説文教材の文章表現—論説的表現に おける論理性と説得性とのギャップにつ いて—
		森本正一	「文章の意味」解析への一試案—詩の場 合—
		寿岳章子	死にむかう表現
		前川清太郎	谷崎潤一郎の表現
		阿部鵬二	「描出話法」と「表現」
		山崎良幸	赤人の表現
第7回	昭和45(1970)年 11月21・22日 三重大学	[講演]	
		真下三郎(甲南女子大)	国語問題と表現
		若松正一(三重大)	近世歌謡の表現と伝統
		[シンポジウム]	
		湊 吉正(千葉大)・本 名信行(金城学院大)・ 杉浦 実(三重大)・司 会:今井文男	テーマ:否定表現をどう考えるか
		[研究発表]	
		長田久男(京都市立紫野 高)	文章は書き手にとって何か—文章の統 一と文章の構造—
		山口仲美(共立女子短大)	今昔物語の象徴詞
		池谷敏忠(金城学院大)	メタフィジカルな詩法—芭蕉とエリオ ット—
		土部 弘(大阪教育大)	文章における段落の分岐と連係—文関 係論と段落関係論—
		藤平 武昭(岐阜大)	詩についての詩—『パスタン』を中心 に—
		菅野 宏(福島大)	芭蕉における対照法

第 8 回	昭和 46(1971)年 5 月 29・30 日 宮崎大学	榊島忠夫 (京都府立大)	ネーミング効果
		[講演]	
		篠原 実 (島根大)	出雲路の文学
		長嶺 宏 (宮崎大)	日向路の文学
		[シンポジウム]	
		今井文男 (金城学院大)・	テーマ:表現における視点の問題
		塚原鉄雄 (大阪市立大)・	
		森本正一 (広島大)・田	
		中瑩一 (島根大)	
		[研究発表]	
伊藤彰茂 (豊田西高)	表現と思想—『君が代』を素材として—		
山根 巴 (相模女子大)	憲吉短歌における字余りについて		
本名信行 (金城学院大)	格文法の輪郭		
上野さち子 (山口女子短 大)	連歌における心情表現と感覚表現		
木坂 基 (新居浜高専)	近代文章における未来表現形式		
吉田金彦 (京都府立大)	万葉集における「がへ」「がへに」につい て		
秋本守英 (京都工芸繊維 大)	徒然草の表現		
寿岳章子 (京都府立大)	すぐろくの表現するもの—昭和のすぐろく の悲しみ—		
第 9 回	昭和 47(1972)年 5 月 26・27 日 甲南女子大学	[講演]	
		尾川正二 (関西学院大)	「事実」と表現
		犬養 孝 (甲南女子大)	万葉集の表現
		[シンポジウム]	
		篠原 実 (島根大)・戸	テーマ:表現の深さはどのような機構の上
		川晴之 (同志社大)・箕	に成立するか(一を削除)
		輪真澄 (新潟大)・司会:	
		秋本守英	
		[研究発表]	
		鈴木貞雄	漱石の比喩表現に与えた G.メレディスの 影響について

鶴木奎治郎	ホーソーンの「ロマンス」と九鬼周造の「いき」の構造—灰色の研究—
池谷敏忠	T.S.エリオットの詩法の発展
佐々木峻	「天草版イソポのファブラス」の尊敬表現法
奥野純一	連歌における表現的問題について—『二根集』にみえる添削・批評から—
寺本喜徳	写生文と志賀直哉の初期作品との連なりについて

第 10 回	昭和 48(1973)年	[講演]	
	5 月 26・27 日	竹岡正夫(香川大)	『古今和歌集』雑体の“短歌”
愛知会館		外山滋比古(お茶の水女子大)	目の言葉・耳の言葉
		[シンポジウム]	
		磯貝英夫(広島大)・杉浦 実(三重大)・藤平武昭(名古屋大)・司会: 久米常民	テーマ: 文芸の成立はどういう表現機構によるか
		[研究発表]	
		本名信行(金城学院大)	意味の記述について—親族名称の研究から学ぶこと—
		伊藤克敏(神奈川大)	終助詞の表現的特性
		木坂 基(新居浜高専)	『破戒』の振り仮名表現—文芸的文章と表現語彙をめぐって—
		遠藤邦基(岐阜大)	地名の掛け詞
		島村 馨(金城学院大)	J. オーステンのアイロニカルな表現について
		大塚賀弘(日本工業大)	J. ゴールズワージーの短篇小説とその文体
		向井滋之(新居浜高専)	トーマス・マンにおける誇張表現について
		加藤鎮司(中日新聞社)	表現の自由とその規制について—マス・コミの「送り手」の表現抑制の図式—
		池谷敏忠(金城学院大)	W. スティヴンスの詩における色彩のシンボリズム

		鶴木奎治郎（信州大）	谷崎潤一郎の表現したアメリカ
		神尾暢子（大阪教育大）	語彙範疇と表現機構—座標範疇と構成 範疇—
		河村清一郎（明治大）	『千羽鶴』の表現
		赤羽 学（岡山大）	芭蕉の表現—「猪も」「猪の」「病雁の」の 句について
第 11 回	昭和 49(1974)年	[講演]	
	5 月 25・26 日	和田茂樹（愛媛大）	子規と漱石
	愛媛大学	西尾光雄（東京女子大）	『源氏物語』の形容詞
		[シンポジウム]	
		中村 明（国立国語研）・	テーマ：文体はいかにして生成されるか
		木原 茂（広島大）・根	
		岸正純（岐阜大）・司会：	
		真下三郎	
		[研究発表]	
		若月 剛（金城学院大）	16 拍 4 行詩のリズム(English Nursery Rhymes)を中心に
		植野晃久（布施高）	国語のリズムと表現性—言語リズム論の 一方途—
		田中瑩一（島根大）	幼稚園児の絵本に対する反応の言葉
		森 米二（愛知看護短大）	詩行の機能—e.e.cummings の作品を中 心に—
		橋 豊（茨城大）	手紙の語彙調査—受け手の違いによる 表現の変化—
		飛弾知法（松山商科大）	Hawthorne における Romance の変質につ いて
		本名信行（金城学院大）	表現構造の社会的条件について
		小田迪夫（大坂教育大）	寺田寅彦の文体
		菅野 宏（福島大）	作品の構造と読み方
		永尾章曹（広島女学院大）	国語表現法の構想
第 12 回	昭和 50(1975)年	[講演]	
	5 月 24・25・26 日	清田正喜（西南学院大）	東欧・北欧における日本文学研究の現状
	防衛大学校	馬淵和夫（筑波大）	今昔物語の表現



[シンポジウム]

林 巨樹(青山学院大)・ テーマ:現代文章表現法批判  
塚原鉄雄(大阪市立大)・  
土部 弘(大阪教育大)・  
司会:押見虎三二

[研究発表]

田中英雄(宇部短大) 英詩における色彩表現  
山根 巴(相模女子大) 茂吉短歌の句法  
平岩紀夫(愛知教育大) Macbethの比喩の解釈  
佐藤嗣男(明星学園高) 芥川龍之介における歴史小説の表現  
三上敏夫(東海大) 日英語における「色」の表現  
鶴木奎治郎(信州大) 哲学者の文章表現法  
長田久男(岡山大) 誘導副詞の連文的職能  
三宅雅明(大阪府立大) 含意言語の極致としてのメタファー  
小松光三(大阪工業大) 助動詞の「意味」と体系

[文学遺跡見学]

走水神社・観音崎公園・ペルリ上陸記念  
碑・若山牧水の歌碑・油壺の遺跡・北原  
白秋の詩碑・城ヶ島など見学

第13回 昭和51(1976)年 [講演]

5月22・23日  
愛知淑徳大学

堀井令以知(南山大) 語順と意味  
寿岳章子(京都府立大) ことば—思想—型—歌謡曲の中の女性  
—

[シンポジウム]

石黒昭博(同志社大)・ テーマ:語順の問題  
伊藤克敏(神奈川大)・  
本名信行(金城学院大)・  
司会:永田友市

[研究発表]

友定賢治(広島文教女子 一人称代名詞の二人称転換現象につい  
大)・中島一裕(淀川工 て  
業高)  
池谷敏忠(金城学院大) アメリカ戦後詩と俳句  
両角克夫(信州大) 表現の二重性—人間学的考察—

		秋本守英（京都工芸繊維大）	狭衣物語の文章
第 14 回	昭和 52(1977)年	加藤鎮司（中日新聞社） [講演]	新聞の文章・表現の特質とその変化
	5 月 21・22 日	山崎良幸（高知女子大）	「梅花歌三十二首」の構成について
	広島大学	木原 茂（広島大）	文章表現における生命の形式
		樺島忠夫（京都府立大） [シンポジウム]	文章の構造
		田中瑩一（島根大）・山口仲美（共立女子短大）・森 米二（愛知看護短大）・小野迪雄（愛知淑徳大） [研究発表]	テーマ：歴史的現在の表現効果
		尾崎 勇（防衛大）	維盛像の一特質—「雪山の鳥」をめぐって—
		金谷 憲（東京大院生）	Be 動詞構文についての一考察—日本語との対照—
		江連 隆（弘前大）	童話の文体
		志鷹英行（新潟女子短大）	仮面劇『コーマス』の言語表現について
		渡辺輝道（茨木高）	後拾遺和歌集の表現
		谷 悦子（大阪教育大院生）	新美南吉童話の表現について—（自然）描写法を中心に—
		山根 巴（相模女子大）	赤彦短歌の色彩表現
第 15 回	昭和 53(1978)年	[講演]	
	5 月 20・21 日	古賀精一	古事記の文章
	島根大学	篠原 実（島根大）	表現学と表現指導と
		真下三郎（甲南女子大） [シンポジウム]	コトワザの表現
		半沢幹一（東北大院生）・一瀬昌夫（梅花女子短大）・岸本誠吉（防衛大）・小松光三（大阪工業大） 司会：佐藤 茂	テーマ：仮定法と過去形の問題

[研究発表]

- 菅野圭昭（都留文科大） 宮沢賢治の表現について—構文ないし連文を中心に—
- 大谷泰照（関西大） 欽定訳聖書の文章構造
- 藤掛庄市（岐阜大） 第二言語習得過程における文生成の条件
- 三宅雅明（大阪府立大） アリストテレスと O. E. D におけるメタファーの定義の本質と限界
- 菅野 宏（福島大） 作品の構造と読み方
- 野口養吉（秋田南高） 歌合判者の“表現”意識
- 杉浦 実（九州大） 詩におけるパウゼ(間)のはたらき
- 根岸正純（岐阜大） 明治自然主義小説の文体—田山花袋の場合—

第 16 回 昭和 54(1979)年

5 月 19・20 日

山口女子大学

[講演]

- 古田足日（山口女子大） 児童文学の中の人物像
- 竹岡正夫（香川大） 私の新・言語過程説

[シンポジウム]

- 秋本守英（京都工芸繊維大）・杉浦 実（九州大）・森 米二（愛知看護短大）・司会：糸井通浩
- テーマ：表現と距離

[研究発表]

- 今永 要（東横学園女子短大） 文学におけるやすらぎのリズム
- 藤田加代（高知女子大） 「見渡せば」によって構成される詩的空間
- 三宅雅明（大阪府立大） 〈花が微笑む〉はメタファーか
- 土部 弘・早川勝広（ともに大阪教育大） 文章表現力の構造と発達
- 中西善弘（天理大） D. H. ロレンスの二重性に関する表現形式
- 福島行一（防衛大） 大仏次郎の大衆文学観
- 渡辺輝道（高知大） 和歌の表現
- 藤掛庄一（岐阜大） 後置修飾syntaxと習得strategy

- 第 17 回 昭和 55(1980)年 [講演]  
5 月 17・18 日 原田章之進 古事記以前の日本語表記について  
明治大学 中村雄二郎 (明治大) 言語表現のあやしさとめでたさ、コモン・  
センスのつまらなさとおもしろさ
- [シンポジウム]  
木坂 基 (山口女子大) ・ テーマ:近代文章における欧文脈の問題  
畠中康男 (梅花女子短  
大) ・ 司会: 根岸正純
- [研究発表]  
藤田正幸 (愛媛大) ドイツ語俳句論序説  
三宅雅明 (大阪府立大) 字義の字義  
横井雄峯 (愛知学院大) 『正法眼蔵』仏性の巻の英訳について  
木村恵子 (大阪教育大院  
生) 森鷗外作品の表現特性  
稲垣泰一 (金城学院大) 『俊頼髓脳』の一和歌説話の解釈とその  
受容  
神尾暢子 (大阪教育大) 平安王朝の表現意識
- 第 18 回 昭和 56(1981)年 [講演]  
5 月 16・17 日 真下三郎 書札礼の敬意表現  
筑波大学 林 四郎 (筑波大) 徒然草の表現と現代の大学生
- [シンポジウム]  
安田 章 (京都大) ・ 栗 テーマ:「語り」の表現機構  
原 裕 (共立女子大) ・  
司会: 甲斐睦朗
- [研究発表]  
中村邦夫 (盛岡北高) 『人間失格』における「さうして」の用法  
根間弘海 (弘前大) 動詞語形変化の分析をめぐる問題点  
三宅雅明 (大阪府立大) 比喩と性格造型—オスカー・ワイルドの  
『サロメ』の場合—  
藤掛庄市 (岐阜大) 第二言語学習過程のモジュラー化  
岡崎晃一 (兵庫教育大院  
生) 『大阿蘇』(三好達治)の「は」と「が」につ  
いて  
泉 美江 (大阪教育大院  
生) 構文法にみられる時間構造

第 19 回	昭和 57(1982)年 5 月 15・16 日 岡山大学	佐藤嗣男 (明治大)	井伏文学・初期の文体
		[講演]	
		竹岡正夫 (香川大)	用言の二重性—日本語に關係代名詞の 要らない一つの理由—
		赤羽 学 (岡山大)	芭蕉における伝統の受容と体験と表現— 『野ざらし紀行』の小夜の中山の条の成 立をめぐって—
		[シンポジウム]	
		半沢幹一 (共立女子大)・ 吉村耕治 (関西外国語短 大)・岩田和男 (大阪府 立大)・司会 : 三宅雅明	テーマ: 比喩表現に新しい光をあてる
		[研究発表]	
		野浪正隆 (和泉工業高)	表現の立場と文章構成
		石神照雄 (信州大)	副詞の捉え方
		井上一郎 (広島文教女子 大)	漱石『夢十夜』について
第 20 回	昭和 58(1983)年 5 月 14・15 日 愛知県婦人文化 会館	橋内 武 (ノートルダム 清心女子大)	岡山大学教育学部における外国人留學 生に対する日本語教育の実践の中から
		阿久澤 忠 (目黒高)	『源氏物語』における助動詞「めり」の性 格
		中島一裕 (帝塚山短大)	重層的構成と主題
		多田保行 (安田女子大)	談話文法の立場から見た強調表現
		倉田紘文 (別府大)	詩誌『壱』の文学史の価値
		藤掛庄市 (岐阜大)	言語行動の 48 類
		[講演]	
		横井雄峯 (愛知学院大)	仏典の英語表現について—『正法眼蔵』 を中心に—
		山崎良幸	志貴皇子御作歌とその表現—言語イメー ジと和歌の表現に関連して—
		[シンポジウム]	
野村真木夫 (北海道大院 生)・堀内俊和 (愛知淑 徳大)・堀井令以知 (関	テーマ: 話法をどう捉えるか—体験話法を 中心に—		

西外国語大)・司会：浅

若 佐

[研究発表]

- 尾崎 勇 (防衛大) 『愚管抄』における「口伝」の意味  
岡崎晃一 (姫路市立灘中) 二葉亭四迷の白ゴマ点  
早川勝広 (大阪教育大) 格的関係から題述関係へ—多語文段階の文法的諸相—  
片村恒雄 (神戸市立須磨高) 文章表現における指示語の機能—小説の文章を中心に—  
友定賢治 (広島文教女子大) 育児語の語形について—反復の意味を考える—  
奥野純一 (筑波大) 心敬付句の一理解  
池谷敏忠 (金城学院大) 芸術作品の創造と伝統—世阿弥・能楽論とエリオット試論—

第 21 回 昭和 59(1984)年 [講演]

- 5 月 19・20 日 土部 弘 (大阪教育大) <表現文法>への道  
大阪市立労働会館 谷口 勇 (桃山学院大) ジョルコフスキーの<表現の詩学>をめぐる

[シンポジウム]

- 友定賢治 (広島文教女子大)・前田富祺 (大阪大)・湊 吉正 (筑波大)・司会：早川勝広  
テーマ：育児語の表現学—動詞語彙を中心に—

[研究発表]

- 望月 緑 (仏教大) 分詞構文の表現効果について  
安武知子 (愛知教育大) 英語時制付き補文の構造と意味  
半沢幹一 (共立女子大) 万葉集に擬人法はあるか  
稗島一郎 (米沢女子短大) 現代英語における強意語の性差について—特に John O'hara の作品を中心にとして—  
藤田正幸 (愛媛大) 詩と信仰—リルケと川本臥風の場合—  
久保由美 (京都大) 近代文体発生とパンクチュエーション—区切り符号のメタテキスト性—

		井上一郎（広島文教女子大）	幼稚園期における談話構成能力の発達
第 22 回	昭和 60(1985)年	[講演]	
	5 月 18・19 日	根岸正純（岐阜女子短大）	自然主義と私小説との文体はどちらがうか
	岐阜大学	島 正三（東京農業大）	表現法と日本の古農書
		[シンポジウム]	
		中島一裕（帝塚山短大）・	テーマ：〈談話の文法〉という観点がかもたら
		仁田義雄（大阪女子大）・	すもの
		長田久男（岡山大）・司	
		会：糸井通浩	
		[研究発表]	
		野浪正隆（大阪府立大和川高）	遠近の叙述法—描写と記述を中心に—
		堀江祐爾（兵庫教育大）	アメリカの作文教育—小学校教科書教材を中心に—
		赤羽研三（防衛大）	デリダの隠喩論について
		三宅雅明（大阪府立大）	漱石『文学論』の現代的意義—記号学の視座から—
		小保方研一（美濃加茂市立東中）	中学三年生における作文指導の実際
		吉藤京子（梅花女子短大）	英語の定表現にみられる特定性と指示性の諸相
		高崎みどり（文教大）	文脈形成における語句の反復
		田中瑩一（島根大）	—児童の日記における使用語彙—語彙発達の観点から—
第 23 回	昭和 61(1986)年	[講演]	
	5 月 24・25 日	菅野 宏	かつみと紙幟—『おくのほそ道』の福島地方—
	福島大学	馬淵和夫	音韻・文法・表現—日本語動詞の活用の起源
		[シンポジウム]	
		江連 隆（弘前大）・大	テーマ：表現開発の授業をいかにすべきか
		内善一（秋田大）・山根	

巴（相模女子大）・司会：

湊 吉正

[研究発表]

馬場俊臣（筑波大院生） 文章の構造と「文の相互関連度」調査  
高橋善次郎（上武大） いくつかのアメリカ英語の特徴  
小野正弘（鶴見大） 因果関係表現におけるサスペンスの方法  
—『浮雲』を資料として—

山内信幸（新島学園女子短大） 英語における副詞の派生に関して—語彙的派生の提案—

野村真木夫（弘前学院大） パラグラフにおける文の展開をめぐる  
井島正博（防衛大） 累加表現の変遷—ウチとウへとをめぐる—

吉田 究（梅花女子大） 『和泉式部日記』における自己把握の構図

藤掛庄市（岐阜大） 外国語としての漢語学習カリキュラム

第 24 回 昭和 62(1987)年

5 月 24・25 日

梅花女子大学

[講演]

弥吉菅一 芭蕉の宿泊表現—『野ざらし紀行』の場合—

石黒博昭（同志社大） 修辞と表現—戸川晴之教授の表現学をめぐる—

[シンポジウム]

楠見 孝（学習院大院生） テーマ：記号と表現

・半沢幹一（共立女子大）  
・小野正弘（鶴見大）  
・司会；三宅雅明

[研究発表]

古田芳江（広島大院生） 樋口一葉著『にごりえ』の表現—終章解明のための試論—

山内正平（千葉大） ダダから具体詩へ—実験詩にみるドイツ現代詩史の一側面—

牧戸 章（兵庫教育大） 文章表現能力の発達に関する一考察—  
「文章の構成・展開」の観点から—

天野紘一（金城学院大） 象徴的表現法—古英詩『ペーオウルフ』の場合—



		小松聡子（大阪国際児童 文学館研究生）	若松しづ子の児童文学の文体について
		文 燕友（帝塚山短大）	連文におけるボイスとアスペクトの機能
		福田一雄（新潟大）	英語における分裂文の談話機能について
		永田友市（愛知淑徳大）	漢語の表現
第 25 回	昭和 63(1988)年	[講演]	
	5 月 28・29 日	高橋信之（愛媛大）	俳句と現代語的口語表現
	愛媛大学	秋本守英（龍谷大）	国語辞典と表現
		[シンポジウム]	
		難波平人（広島大）・栗 原 裕（共立女子大）・ 湊 吉正（筑波大）・司 会：永尾章曹	テーマ：表現学再考
		[研究発表]	
		藤原将修（大阪府立池田 北高）	事態認知と叙述の視点
		西山文夫（長崎外国語短 大）	英語における受動化の可能性と限界
		堀江祐爾（愛媛大）	アメリカにおける作文教育の基礎理論— James Britton の理論を中心に—
		三宅雅明（大阪府立大）	言語表現論としての『惜しみなく愛は奪 ふ』
		阿久澤 忠（都立江東商 業高）	『源氏物語』の人物呼称—「君」に関する 呼称について—
		鈴木敬司（中央学院大）	表現過程への一視点—レポートのまとめ 方の指導に沿って—
		堀内俊和（愛知淑徳大）	情報価値からみた英語の語順—前置詞 句連鎖の場合—
		佐藤嗣男（明治大）	芥川龍之介『秋』の文体—チエホフ体験 の反映—
第 26 回	平成元(1989)年	[講演]	
	5 月 27・28 日	永田友市（愛知淑徳大）	現代日本語における漢字の問題

愛知県婦人文化会 塚原鉄雄（二松学舎大学） 小倉百首の独自表現－表現自体と表現  
館 以外と－

[シンポジウム]

赤羽学（岡山大）・桑田 テーマ:解釈の方法

明・田中英一（新潟大）

[研究発表]

河井恵子（梅花女子短大） Ernest Hemingway の短編小説における  
技法－repetition の表現効果について－

藤掛和美（中部大女子短 聖と賤と漂白と－説教節位相を焙り出す  
大部） 表現について－

石川祥一（防衛大） ニューメディアを用いた英語教育

友定賢治（広島文京女子 育児語の接辞について  
大）

小田原浩文（京都府須知 山崎正和評論の表現研究  
高）

船所武志（大阪大正高） 戯曲表現と事態伝達

堀江祐爾（愛媛大） アメリカにおける作文教育

森 米二（愛知県立看護 詩の解釈  
短大）

第 27 回 平成 2(1990)年

6 月 9・10 日

広島大学

[講演]

相原和邦（広島大） 日本近代文学におけるしぐさ－漱石文学  
を軸として－

中村 明（早稲田大） 笑いのレトリック

[シンポジウム]

石黒昭博（同志社大）・ テーマ:描写をどう捉えるか

樺島忠夫（大阪府立大）・

杉浦 実（九州大）・司

会:木原 茂

[研究発表]

井上博文（広島大） 大分県姫島方言に於ける性向語彙の地  
域性

熊取谷哲夫（広島大） 日本語の「感謝」における表現交替現象  
とその社会言語学的モデル

中島一裕（帝塚山短大） 表現文の述語構成と機能

		松川利広(岡崎女子短大)	新美南吉の文体—「光」にかかわる表現に着目して—
		片村恒雄(高知大)	文学教材の句読法—『羅生門』の場合—
		吉村耕治(関西外国語短大)	The Phoenix における色彩表現
		半沢幹一(共立女子大)	比喩論と構文論
第 28 回	平成 3(1991)年	[講演]	
	6 月 1・2 日	安田 章(京都大)	朝鮮資料によって解明される国語の表現
	龍谷大学	[シンポジウム]	
		藤田保幸(滋賀大)・山口堯二(大阪大)・山梨正明(京都大)・司会: 糸井通浩	テーマ: 修飾の表現機構—連体修飾を中心に—
		[研究発表]	
		神尾暢子(大阪教育大)	一般慣例と個別特例—源氏物語の用語例「例」—
第 29 回	平成 4(1992)年	[講演]	
	6 月 6・7 日	森野宗明(筑波大)	待遇表現の諸相—平安仮名文学作品を中心に—
	筑波大学	[シンポジウム]	
		鳴島 甫(筑波大)・金井 満(防衛大)・田中章夫(学習院大)・司会: 佐久間まゆみ	テーマ: 要約文の表現原理
		[研究発表]	
		青谷法子(大阪大院生)	Lexical Relation Thesaurus の理論的枠組についての一考察
		北林利治(徳島文理大)	英語表現における結合価の増減現象
		藤掛庄市(岐阜大)・児玉玲子(皇學館大)	英語連体修飾の構造についての一考察—特に非限定修飾の場合—
		野村眞木夫(弘前学院大)	テキストにおける時間の表現のはたらき
		島田智子(広島大)	移行する「今」と語り手との関係について—谷崎潤一郎『痴人の愛』をテキストとして—

		中村吉秀（大阪教育大付 属高）	描写度と文体
		松川利広（岡崎女子短大）	少年詩の比喻—まど・みちお氏を中心に—
第 30 回	平成 5(1993)年 6月 5・6 日 島根女子短期 大学	半沢幹一（共立女子大） [講演] 田中瑩一（島根大） [シンポジウム] 小田迪夫（大阪教育大）・ 中島一裕（手塚山短大）・ 野村真木夫（弘前学院 大）・司会：土部 弘 [研究発表] 湯浅哲司（太田市立北三 瓶小） 岡 利通（島根大付属小） 船所武志（大阪市立北野 高） 愛知峰子（中部大） 王 世和（広島大院生） 柳澤浩哉（広島大） 半沢幹一（共立女子大） 伊藤善啓（松江工業高専）	古代和歌の火喻 口承文芸の表現研究—民話と田植歌を 手がかりに— テーマ：「説明」の機能 国語教育における読者論の受容 児童の日記に見られる述べ方について— N. W 児の一年生時の日記に見られる冒 頭部分の表現について— 戯曲対話の表現分析—岸田國士『紙風 船』を例として— 「たけくらべ」の情景と文章—和歌的表現 の役割について— 「動詞＋ている」の用法と意味 テイル形式の非アスペクトの意味 古代和歌における心の擬物化表現の諸 相 提案発話に対する返答の意味解釈算定 基準としての「前提質問」
第 31 回	平成 6(1994)年 6月 4・5 日 共立女子大学	[講演] 橘 豊（茨城大） [シンポジウム] 千葉俊二（早稲田大）・ 中村邦夫（宮古短大）	手紙文の表現特性 テーマ：文学作品の分析—谷崎潤一郎 『細雪』の表現—

山口仲美(実践女子大)・  
平野芳信(山口大)・司  
会:林 巨樹

[研究発表]

小松聡子(お茶の水女子大  
大院生) 巖谷小波における口語文体形成の軌跡  
—明治21年から24年までの小説を中心  
に—

朴 青国(広島大院生) 日本語談話文におけるなぞる表現  
井倉美江(大阪教育大) 遠近法と作品世界の作られ方(一)—距  
離と語り—

橋本喜代太(京都大) 英語における文頭の条件—話し手の心  
情と判断の提示

長沼英二(二松学舎大院  
生) 表現主体と表現観点—落窪物語の文末  
表現—

佐藤雅代(明治大) 和歌における動詞「わぶ」とその周辺

岡 利道(島根大付属小) 児童の日記に見られる述べ方について—  
N. W. 児の2年生時の日記に見られる冒  
頭部分の表現に注視して—

野浪正隆(大阪教育大) 文学的文章の読みにおける推測と検証  
について

第32回 平成7(1995)年 [講演]

6月3・4日 斎藤 勇(同志社大) 表現とジェスチャー—中世英詩人チョー  
同志社大学 サーの場合—

[シンポジウム] テーマ:表現学と外国語教育

佐野仁志(京都嵯峨芸術  
短大)・原田寿美子(名  
古屋学院短大)・堀田敏  
幸(愛知学院大)・山内  
信幸(同志社大)・司会:  
畠中康男

[研究発表]

川崎明仁(同志社大院生) 英語における助動詞表現の発達  
堀口誠信(和歌山信愛女  
子短大) 英文和訳の順序と規則に関わる問題点

		船所武志（大阪府立北野高）	文章要約と叙延機能
		多門靖容（愛知学院大）	神、仏、鬼、妖怪、化け物、怪物のイメージ
		半沢幹一（共立女子大）	喩像論再考
		伴 映恵子（名古屋大院生）	日本語テキストに現れる形容詞とその仏訳の問題
		井倉美江（大阪教育大非）	遠近法と作品世界の作られ方（二）
		野村眞木夫（上越教育大）	日常会話における『のだ』発話の機能
		宇田千春（同志社大）	日本語の結果構文について—『である』文を中心に—
		赤楚治之（名古屋学院大）	数量詞遊離構文と非対格仮説をめぐって
第 33 回	平成 8(1996)年 6 月 1・2 日 明治大学	[講演] 石川忠久（二松学舎大） [シンポジウム] 橋本喜代太（聖和大）・ 神尾暢子（大阪教育大）・ 糸井通浩（龍谷大）・司 会：福島行一・井上泰至 [研究発表] 松木正恵（早稲田大）	漢詩の詠い出しのはたらき テーマ：文章の構成—冒頭表現の諸問題 複合辞の表現性—「とみえ(て)」を例として—
		小松聡子（大阪国際児童文学館）	宮沢賢治の童話の表現研究—副詞「まるで」の用例を手がかりとして—
		伊藤徳文（徳島文理大）	英語表現における情報の機能—英語倒置表現を中心に—
		関 聖泓（韓国外国語大）	韓・日の「食」の文化背景から見た比喩表現の比較
		朴 青国（韓国朝鮮大）	異形のなぞる表現による助詞分析
		友次克子（静岡理工科大）	節の接続と認知領域
		野浪正隆（大阪教育大）	俳句の読み
第 34 回	平成 9(1997)年 6 月 7・8 日 奈良教育大学	[講演] 樺島忠夫 [シンポジウム]	表現法をどう教えるか テーマ：表現学の現在

栗原 裕 (大妻女子大) ・  
 小松光三 (愛媛大) ・ 三  
 宅雅明 (武庫川女子大) ・  
 司会 : 湊 吉正

[研究発表]

阿久津友希 (大阪教育大 院生)	随筆のタイトル機構—向田邦子の随筆から—
石黒 圭 (早稲田大院生)	文間を読む—連文論への一試論—
西村浩子 (松山東雲女子 大)	奄美諸島における昭和期「標準語」教育— 方言禁止から方言尊重へ—
半沢幹一 (共立女子大)	私物化された自然空間—古代和歌における 「わがやど」—
古田芳江 (広島女子商短 大)	透谷のこぼ「文学」について—T. カーラ イルの影響を軸として—
立川和美 (東京大院生)	説明文のトピックセンテンスに関する試論— マクロ構造把握へむけての一試論—
長沼英二 (明治大非)	王朝和歌のこぼえらび—音便形忌避縮 約形の使用—
岡 利通 (広島文教女子 大)	児童の日記に見られる述べ方について (IV)—N. W 児の4年生時の日記に見ら れる冒頭部分の表現に注視して—
山本雅子 (愛知大)	パースペクティブを反映する日本語表現— 前景・背景の表示マーカーとしての「タ」 「ル」—
伊土耕平 (奈良大)	「連鎖論」から見た文章構造

第 35 回 平成 10(1998)年  
 6 月 6・7 日  
 大妻女子大学

[講演]

林 望 (東京芸術大)	私にとっての「表現」
[シンポジウム]	テーマ:〈はやりうた〉の表現

西村真一 (共立女子大) ・  
 石井正彦 (国立国語研) ・  
 東谷 護 (京都大院生) ・  
 司会 : 半沢幹一

[研究発表]

鳥羽祥子 (同志社大院生)	動詞の意味の領域: CLIMB と「のぼる」—
---------------	-------------------------

柴田奈美(岡山県立短大)	正岡子規の俳句「鶏頭の十四五もありぬべし」の考察
橋本喜代太(聖和大)	国語・英語教育におけるパラグラフ構成の扱いについて—トピックセンテンスを中心に—
三宅雅明(武庫川女子大)	記号の有体性
三浦秀松(同志社大院生)	畳語の構造—畳語名詞の意味と派生—
稲益佐知子(東京都立大聴講生)	指標比喩についての—考察—喩詞のはたらきを着眼点として—
小松聡子(大阪国際児童文学館)	吉屋信子の長編少女小説の表現研究—「紅雀」を中心に—
船所武志(四天王寺国際仏教大)	近代小説の遠近法—叙述と視点布置とにかかわって—
赤羽 学(安田女子大)	芭蕉の表現—静止主体と動作主体の交替現象

第 36 回	平成 11(1999)年	[講演]	
	6 月 5・6 日	楠見 孝(東京工業大)	感情表現における認知と文化
	武庫川女子大学	[シンポジウム]	
		難波博孝(愛知県立大)・	テーマ:表現における構造
		平野芳信(山口大)・中	
		村吉秀(福井工業高専)・	
		司会:早川勝広	
		[研究発表]	
		福井淳子(武庫川女子大	『文章世界』所蔵の「新語彙」と『ホトギ
		院生)	ス』掲載写生文
		金志佳代子(京都成章高	時間・空間表現と格
		非)	
		坂田達紀(舞鶴工業高専)	小林秀雄の言語意識
		吉村耕治(関西外国語短	感覚表現の特性
		大)	
		長谷部陽一郎(同志社大	「自分」と“—self”—認知文法による日英
		院生)	対照研究—
		福島 昇(日本大)	Juilius Ceasar と河島敬蔵—‘Negative
			Capability’の視点を交えて—



		福田一雄（新潟大）	日英語間の翻訳に見る「ノダ」表現の意味と機能
		多門靖容（愛知学院大）	比喩史をどう書くか
		藤井俊博（同志社大）	説話の冒頭句と歴史的現在—宇治拾遺物語を中心に—
第 37 回	平成 12(2000)年 6 月 3・4 日 加計学園国際学 術交流センター	[講演] 柴田 一（就実女子大） [シンポジウム] 中畠孝幸（甲南大）・山 下明昭（香川大）・佐藤 政光（明治大）・司会： 田知英三 [研究発表] 落合由治（安田女子大院 生） 金 原 鎰（明治大学院生）  長沼英二（明治大非） 柳澤浩哉（広島大）  高坂京子（立命館大）  林 雅 芬（新潟大学院生）  趙 宣映（広島大学院生）  山田昌裕（大正大非） 半沢幹一（共立女子大） 吉田則夫（岡山大）・支 洪涛（兵庫教育大連合大 学院生）	言語表現と文字表現—方言と御家流—  テーマ：日本語教育と表現学  文章の冒頭について—特定の時の提示 と主な登場者の登場を中心に— 日本語の指示語「コ、ソ、ア」—韓国語の 指示詞「i, ku, ce」との対応関係を中心に — 『落窪物語』の丁寧表現 近松における文体の機能—文体による話 者の判断力の表現— 英語における冠詞・指示詞の用法と推論 のメカニズム 日中論説文の文章構造—新聞社説を材 料として— 志賀直哉の文に関して—草稿と定本の 比較を通して— 「ソ」の表現性を引き継ぐ表現形式 方言比喩語の地理的傾向 身体語を含む慣用句についての日中対 照研究—「目」の場合—
第 38 回	平成 13(2001)年 6 月 2・3 日	[講演] 奥野政元（活水女子大）	芥川龍之介の表現

長崎外国語大学

[シンポジウム]

赤羽研三 (防衛大)・呉 羽 長 (富山大)・藤田

保幸 (志賀大)・荻原 寛

(長崎県立大)・陳 雪

瑛 (長崎大非)・司会:

畠中康男

畠中康男

[研究発表]

塩田英子 (龍谷大院生) 文字テロップと推論モデル

杉山美鳥 (安田女子大院生) 『真夏の夜の夢』におけるオクシモロン

(矛盾語法)

伊藤徳文 (徳島文理大) Shared Knowledge and Interpretation in English

柳澤浩哉 (広島大) King Lear 第1幕第1場の修辞学的分析

芝 典子 (甲南大院生) 宮沢賢治の童話における「ようだ」を含む  
比喩表現

福井淳子 (神戸学院大) 紀行文の革新

ポリリー・ザトラウスキー (ミネソタ大) アニメーションのストーリーを語る際の  
話段と中心発話

辛 碩基 (韓国建陽大) 日本語受動表現の韓国語訳について—  
文学作品の分析を中心として—

第 39 回 平成 14 (2002) 年

6 月 1・2 日

桜花学園大学

[講演]

大野 裕 (愛知県立看護 狐の語る新美南吉

短大)

[シンポジウム]

初山洋介 (名古屋大)・ テーマ:比喩分析の新展開—換喩・提喩

森 雄一 (成蹊大)・司 を中心—to

会: 多門靖容

[研究発表]

長沼英二 (明治大非) 和歌表現と縮約表現

柳 椿姫 (韓国又松大) 「類似表現」の特徴—平安時代を中心—to

	清水泰生（臨南寺東洋文 化研究所）	「ねだる」の類義表現について
	池田俊之（同志社大）	ジョークにおける意味理解の過程について
	島村佳代子（ノートルダム 清心女子大院生）	歌語「空」の表現について
	内藤聡子（愛知大院生）	『源氏物語』若葉下の表現について—「琵琶はすぐれてじやうずめき」を中心に—
	鹿島美千代（愛知大院生）	内藤文草の句—その艶—
	趙 宣映（広島大院生）	「彼」と「自分」について
第 40 回	平成 15(2003)年 6 月 7・8 日 広島大学	[講演] 町 博光（広島大） [シンポジウム] 松浦照子（名古屋短大）・ 石黒由香里（愛知学院大 非）・小宮千鶴子（早稲 田大）・司会：半沢幹一 [研究発表] 内山和也（広島大院生） 小柴良子（ノートルダム 清心女子大院生） 尾崎 勇（熊本学園大） 木村雅則（皇學館大） 木戸光子（筑波大） 李 銀炯（広島大院生） 徐 洪（広島大院生） 路 玉昌（吉備国際大）
		「おまえの家に来る」の表現
		テーマ：日本語の話し方—表現教育の現 場から—
		ブログの表現スタイルについて 和泉式部の二面性
		大鏡の表現技法—仏法の位置づけから —
		和歌の禁止表現について—『古今和歌六 帖』を中心に—
		尾括型の意見文の文章構造についての 一考察
		吉本ばななと申京淑における色彩表現の 比較研究
		安部公房における聴覚表現
		小説の地の文における指示副詞コウ・ ソウについて—コウ・ソウが発話動 詞・思考動詞を修飾する場合—

第 41 回	平成 16(2004)年 6 月 5・6 日 明治大学	[講演] 中沢けい(作家)  [シンポジウム] 赤羽研三(上智大)・植 山俊宏(京都教育大)・ 野村真木夫(上越教育 大)・司会:糸井通浩  [研究発表] 福永佳子(ノートルダム 清心女子大院生) 長沼英二(明治大非)  倉田静佳(東北大院生)  清水泰生(臨南寺東洋文 化研究所) 朴 恵煥(早稲田大院生)  湯浅千映子(学習院大院 生) 稲益佐知子(城西国際大 非) 深津謙一郎(明星学園高 非) 斎 孝則(桜花学園大) 吉村耕治(関西外国語短 大)	主観と客観—主観表現の恢復に向けて —  テーマ:表現学演習—日本近現代詩を材 料として—  『源氏物語』における対照表現  〈採らない〉という表現—嗅覚表現と八代 集恋部構成—  馬琴のふりがな—表現技法の一つとして —  落胆を表す類義語について—がっかりを 中心に—  尾括型論説文の「段」の統括関係による 要約文の表現類型  子どもに向けた談話の構造と展開—子ど もラジオ電話相談の事例から—  直喩表現の分析における“対比関係”と いう手法  村上春樹の比喩表現  黒人霊歌の表現様式  感覚表現における共通感覚と共感覚の 共存—色階の可能性—
第 42 回	平成 17(2005)年 6 月 4・5 日 香川大学	[講演] 真田真治(大阪大)  [シンポジウム] 稲垣泰一(筑波大)・楠見 孝(京都大)・水藤新子	在米・在中・在露コリアン女性の日本語表 現          テーマ:表現としての恐怖・怪異—その本 質と諸相

(早稲田大非)・司会:

田中瑩一

[研究発表]

上田恭寿(大阪大院生) 思考と発話の2要素による日本語物語テクストの類型化

鈴木香子(早稲田大非) 相談の談話における話段の表現特性

蟹江希世子(名古屋大院生) 童名考—『源氏物語』の表現方法の一環として—

松村美奈(愛知大院生) 仮名草子『棠陰比事物語』の翻訳態度について

石黒 圭(一橋大) テキストの線状性と多重性

松本 修(上越教育大) 読みの分岐点と読みの形成要因

石出靖雄(学習院中高) 夏目漱石『三四郎』『道草』における地の文の諸相

片山 武 夏目麿麿の万葉集研究—萬葉摘草を例として—

第43回 平成18(2006)年 [講演]

6月3・4日 佐藤正子

高崎経済大学

息づいている草屋暮らしの言葉—和歌を紡いで40年—

[シンポジウム]

吉村耕治(関西外国語短 テーマ:日本語らしさと英語らしさ

大)・大島中正(同志社女

子大)・松川利広(奈良教

育大)・司会:甲斐睦朗

[研究発表]

茗荷 円(聖心女子大院生) 近代の女性の書簡文の研究—大正時代を中心に—

安井寿枝(甲南大院生) 『細雪』四姉妹の対称詞—その使用から見えるもの—

上田光一郎 文脈の方向性に関する一考察—新聞記事のリードを主な資料として—

稲益佐知子(国立国語研 直喩を表すXノヨウナY文の表現類型  
非)

		願 那 (名古屋大院生)	日本語における自由直接話法と自由間接話法の形態と意味
		徐 洪・柳澤浩哉 (ともに広島大)	日本と韓国における説得表現の修辞学的比較分析
		ポリリー・ザトラウスキー (ミネソタ大)	談話における指示的な身ぶりの種類と機能
		片 茂鎮 (韓国檀国大)	「により」考
第 44 回	平成 19 (2007) 年	[講演]	
	6 月 3・4 日	山梨正明 (京都大)	認知レトリックと言葉の〈創造性／想像性〉
	龍谷大学	[シンポジウム]	
		岡田博子 (二松学舎大非)・平田由美 (大阪外国語大)・長谷部陽一郎 (同志社大)・司会: 神尾暢子	テーマ: 物語・小説の話法
		[研究発表]	
		椎葉富美 (長崎西高)	『土佐日記』における表現意識の一考察—登場人物の呼び方を通して—
		長沼英二 (明治大非)	漢語訓読と和歌表現—「ミドリ」と「アラシ」—
		福川雅美 (東九州短大非)	謡曲曲末「けり」の表現性
		小林千草 (東海大)	ハビアン『平家物語』〈重衡東下り・千手〉の段と能「千手重衡」—復元をプロセスとする“語り”の表現論—
		田貝和子 (東洋大非)	瀬沼夏葉の文体
		木戸光子 (筑波大)	冒頭文と結尾文の文章を統括する機能—統括型と尾括型の要約文の分析を通して—
		西川真理子 (甲子園大)	「言うには文」をめぐる
		安 増煥 (韓国韓南大)	聖書の翻訳から見た日本語の特徴—韓国語との対照的な観点から—
第 45 回	平成 20 (2008) 年	[講演]	
	6 月 7・8 日	鏡味明克 (愛知学院大)	地名と表現

愛知学院大学

[シンポジウム]

佐久間まゆみ（早稲田大）・高橋淑郎（ミュンヘン大）・ポリー・ザトラウスキー（ミネソタ大）・石田敏子・司会：石黒 圭

テーマ：講義の談話の表現から理解へ

[研究発表]

陳 崗（兵庫教育大連合大学院生）

残念の心情を表す和語の語彙史

百瀬みのり（お茶の水女子大学院生）

中世期言語資料に見られる『サテ』『サルホドニ』について

島村直己（国立国語研）

児童・生徒の課題作文の語彙と文の長さ

松本 修（上越教育大）

読み語りにおける読み手の方略

稲益佐知子（国立国語研非）

Xノヨウナモノについて—比喻表現を中心に—

内田安伊子（早稲田大非）

応答の『ソウ』の意味機能

鈴木香子（早稲田非）

講義の『話段』におけるスピーチ・レベル・シフトの統括機能

朴 恵煥（早稲田大院生）

要約文における講義の談話のパラフレーズ

第 46 回

平成 21(2009)年

[講演]

6 月 6・7 日

山口大学

中原 豊（中原中也記念館）

中原中也の方法—交錯するまなざし—

[シンポジウム]

香西秀信（宇都宮大）・森 雄一（成蹊大）・柳澤浩哉（広島大）・平野敏彦（広島大）

テーマ：レトリックの眼で見た世界—虚偽・悪文・映画・判決—

[研究発表]

星野祐子（お茶の水女子大学院生）

大学生による課題解決型話し合いにおける“繰り返し”の機能

張 偉莉（龍谷大院生）

勧誘のモダリティの日中対照研究

高崎みどり（お茶の水女

自然談話における引用表現の実態と分

	子大)	析
	桑原哲朗(新潟県立教育センター)	問うということ—芦田恵之助の表現思想—
	加藤恵梨(名古屋大院生)	形容詞の主観性について—『うれしい』、『たのしい』、『おもしろい』を中心に—
	下岡邦子(龍谷大院生)	感情動詞『安らぐ』についての一考察
	大畑陽子(同志社大院生)	『宇治拾遺物語』における「けり」文の性質
第47回	平成22(2010)年 [講演] 6月6・7日 外山滋比古 お茶の水女子大学 [シンポジウム]	表現の原理
	染谷みどり(田園調布学園大)・中里理子(上越教育大)・菅 聡子(お茶の水女子大)・平田由美(大阪大)・司会:高崎みどり	テーマ:女と書き物—女が読む／女が書く／女を描く
	[研究発表] 長谷部亜子(愛知学院大院生)	多義語「モト」の意味分析
	山本和恵(同志社大院生)	「一人称小説」「三人称小説」における受身表現の分類と機能
	石出靖雄(学習院女子中高)	小説の地の文における夕形文末の特性
	王 慧杰(東海大院生)	村上春樹『ノルウェイの森』の中国語訳本における「誤訳」
	山田昌裕(恵泉女学園大)	副助詞「のみ」の変容—鎌倉期散文資料を中心に—
	田中啓行(早稲田大院生)	講義の談話構造に基づく受講ノートの理解類型の分析
	湯浅千映子(韓国忠南大)	臨時一語の分解を伴う小学生新聞の言い換え
	ポリリー・ザトラウスキー(ミネソタ大)	テレビの料理番組の中で見られる言語・非言語行動による評価表現



- 第 48 回 平成 23(2011)年 [講演]  
6 月 6・7 日 秋本守英 アイウエオと伊呂波の表現学  
関西外国語大学 [シンポジウム]  
中島一裕(帝塚山大)・ テーマ:感性と言語—日本語を中心に—  
多門靖容(愛知学院大)・  
水藤新子(中央学院大)・  
司会:吉村耕治  
[研究発表]  
苺宿紀子(早稲田大院生) 談話におけるガ格無助詞文の使用実態  
長谷部亜子(愛知学院大 院生) について  
モトとナカ—副詞的用法を中心に—  
茗荷 円(共立女子大非) 夏目漱石の書簡文の表現特徴  
坂本麻裕子(名古屋大院 生) 明治修身教科書における〈労働〉倫理の  
表現—二宮金次郎と塩原多助—  
呉 恩英(名古屋大院生) 在日朝鮮人文学における〈朝鮮的なるもの〉—金石範の作品を中心に—  
大川英明(関西外国大) 映画に見られる家族の会話と日米文化  
の差異—夫婦の会話、親子の会話—
- 第 49 回 平成 24(2012)年 [講演]  
6 月 2・3 日 山口仲美(明治大) 仮名文の花ひらく  
共立女子大学 [シンポジウム]  
金 原 鎰(韓国白石文化 大)・石黒 圭(一橋大)・ テーマ:広がる指示詞の世界—表現の  
『場』から指示詞を考える—  
梅林雅美(恵泉女学園大 非)・小林由紀(慶応大 非)  
[研究発表]  
福富麻子(東京外国語大 院生) 現代日本語「安らか」の意味分析  
小山友里江(名古屋大院 生) 日本語母語話者同士の会話に現れる共  
感表明の機能—会話中の質問表現に焦  
点を当てて—  
セペフリバディ・アザム 日本語における自称表現  
(一橋大院生)

	パトリツィア ディシ ィ・フジンスカ（お茶の 水女子大院生）	企業における管理職の女性の命令・依 頼表現について
	奈良夕里枝（フェリス女 学院大）	複雑な推論を表す条件表現—推理小説 における条件表現について
	水藤新子（中央学院大）	三島由紀夫「真夏の死」の表現
	梅林博人（相模女子大）	言語変化の過渡期における個人の使用 実態—古川ロッパの「全然」を例に—
第 50 回	平成 25(2013)年 [講演] 6 月 1・2 日 清水良典（文芸評論家） 愛知県労働会館 [シンポジウム] (ういんくアイチ) 野村真木夫（上越教育 大）・西田隆政（甲南女 子大）・中島一裕（帝塚 山大） [研究発表] 小池博明（長野高専） 阿久澤 忠 藤井俊博（同志社大） 石黒由香里（愛知学院大 [非]） 植山俊宏（京都教育大） 高坂京子（立命館大） 北林利治（京都橘大）	表現がリサイクルする—模倣と表現— テーマ:表現学説を見直す 初句切れの表現構成—古今和歌集から 後拾遺和歌集まで— 橋姫の巻「御前にて失はせ給へ」は誰の 言葉か 今昔物語集の「にけり」—テキスト機能の 諸相— 説明文教材の表現分析—「難しさ」のあり か— 表現の連鎖・類比性に着目した説明的文 章教材の教材研究法 冠詞が映し出す英語の世界 日英語における〈見え〉の表現

